

様式（第3条関係）

東京都とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都板橋区板橋 3-36-6
園名	ベネッセ板橋三丁目保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

表現（積木）

<テーマの設定理由>

日ごろから、子どもたちが楽しんでいる積木遊びを、表現活動として子どもたちのイメージを形にすることや友だちと協力し合い、積み上げたり、街作りをしたりするなどの変化を楽しむことが出来るような取り組みをしたいと考えたため。

2. 活動スケジュール

- ・夏の遊びも終わり、落ち着いて室内遊びができるようになる秋口に、積木の用意をする。普段使っている積木のほかに、形の違うレンガ積木、ジグザグ積木、カーブ積木、ジュエル積木などを用意する。また、街づくりにイメージが広がるように自動車や動物なども用意した。
- ・チャレンジ活動で、どんな街づくりをするか、写真などを見せながら建物のイメージを考える。
- ・実際に友だちと協力し街づくりをする。

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設

- ・イメージを共有するための写真
- ・ウールレンガ積木、ジグザグ積木、カーブ積木、ジュエル積み木、自動車、動物など様々な種類の積木を用意
- ・一緒に作り上げる仲間との話し合いの場
- ・できた積み木を見てもらえる環境

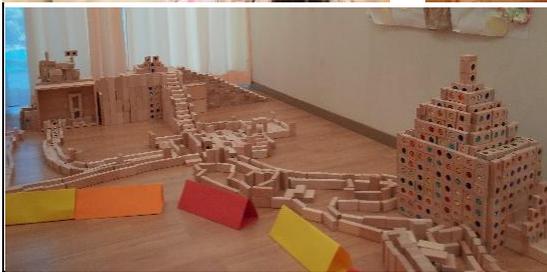
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 写真を見てイメージを共有
- ・ 作りたいものを決めグループで話し合う
- ・ 実際に作ってみる
- ・ 作りながら、必要な素材を提供する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ 初めは消極的だった子どもも、友だちと会話する中で、「こうすればいいんじゃない」「ここは、もっとこっちの方がいいよ」など声を掛け合いながら作る姿が見られた。
- ・ 高い塔を作る時は、どうしたら崩れずに高く積めるか、確認しながら行っていた。
- ・ 保育者が「こういうことはどうだろう?」「こんなこともできるかもね」などとヒントを出すことで、より考えが深まり協力する姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

- ・ 見たものをそのまま形にするのではなく、遊びの中で意見を出し合いながらイメージを共有することで、意見を普段伝えることが難しい子どもでも、自発的に発言をして受け入れられる経験を重ねることができた。この経験によって、他の場面でも意見を伝えられるようになった。遊びがもたらす影響は、保育者が伝えるだけでは難しいものに対する成長を促すものだと実感した。